

一般社団法人 日本家政学会 家族関係学部会ニューズレター
Council on Family Relations, Japan Society of Home Economics



2019 年度 第 1 号 2019. 6. 27 発行



編集 永田 晴子

発行 家族関係学部会事務局

***** INDEX *****

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ■ 部会長より | ■ 庶務（会員管理担当）より |
| ■ 第 39 回家族関係学セミナーのご案内 | ■ 会員のメルマガを利用した情報発信について |
| ■ 編集委員会より | ■ 平成 30 年度事業報告 |
| ■ 会計より | ■ 平成 30 年度収支計算書 |

☆☆☆ 部会長より ☆☆☆

宮坂 靖子（金城学院大学）

過日の大地震に見舞われた新潟県・山形県の皆様に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

日本家政学会第 71 回大会が 5 月 26～27 日に四国大学（徳島市）で開催されました。徳島県を中心とした四国の大学に勤務されている会員におかれましては、大会運営にご尽力いただき、誠にありがとうございました。26 日に開かれた役員会では、平成 30 年度の事業報告および決算書が承認されました。本ニューズレター末尾に掲載いたしますのでご覧ください。

第 39 回家族関係学セミナー（大会実行委員長：中谷奈津子会員、於神戸大学）の自由報告の申し込みの受付が開始されました。今回から、若手有志による「若手研究者交流の会」が開催されるとのことです。年齢にかかわらず、「若手」マインドをもつ方のネットワーク作りの機会として大きく発展していくことを期待しています。

また、メルマガの電子化にともない、会員の皆さまからの情報も掲載させていただくこととなりました。ぜひ、会員同士の研究交流や情報交換にご活用ください。詳しくは、本ニューズレターの「会員のメルマガを利用した情報発信について」をご覧ください。なお、本部会のメルマガの発行には経費がかかりますので、随時の発信とはなりませんので、この点ご了解ください。他にもご要望等ございました、遠慮なく事務局までご連絡ください。

最後になりますが、会計からの連絡と重複して恐縮ですが、部会費の速やかな納入にご協力ください。本部会では、会の運営にかかわる事務的作業を役員の手作業によって行っておりますので、会員の皆様のご理解とご協力をぜひともお願い申し上げます。

第39回家族関係学セミナーのご案内

中谷 奈津子 (第39回家族関係学セミナー実行委員長/神戸大学)

日程：2019年10月12日(土)～10月13日(日)

会場：神戸大学鶴甲第2キャンパス (JR六甲道駅、阪急六甲駅、阪神御影駅より)

神戸市バス 36 系統鶴甲団地行き乗車、「神大人間発達環境学研究所前」下車、
新神戸よりタクシー約20分 約2,500円)

■プログラム

1日目 10月12日(土) 12:00～ 受付

13:00～16:00 公開シンポジウム

テーマ：地域におけるグローバル化と多文化共生

－受け入れ国と送り出し国の家族・子ども・教育－

報告1 上野 加代子氏 (東京女子大学現代教養学部教授)

報告2 志岐 良子氏 (特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター)

報告3 上野 顕子氏 (金城学院大学生生活環境学部教授/家族関係学部会会員)

司会・コーディネーター 森田 美佐 (高知大学/家族関係学部会会員)

磯部 香 (高知大学/家族関係学部会会員)

16:30～17:30 総会

18:00～20:00 懇親会

2日目 10月13日(日) 午前 自由報告 【1報告につき、報告時間20分、質疑応答5分】

(※時間は演題数により確定し、プログラムにてお知らせします。)

■「自由報告」の募集

自由報告申し込み期限：2019年7月19日(金) 必着

報告要旨の締め切り：2019年8月16日(金) 必着

■プログラムのご案内と参加申込み

「プログラムのご案内と参加申込み」は8月上旬に発送する予定です。参加費、自由報告の申し込み等、詳細につきましては、6月上旬に送付しました「第39回家族関係学セミナーのご案内と自由報告募集のお知らせ」をご覧ください。

■連絡先：第39回家族関係学部会セミナー大会実行委員会事務局

中谷 奈津子 研究室 〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11 神戸大学 Tel.:078-881-1212(代表)

E-mail : nakatani-n★silver.kobe-u.ac.jp ★を@に置き換えてください

★ ☆ ★ 編集委員会より ☆ ★ ☆

杉井 潤子 (編集委員長/京都教育大学)

編集委員会では、昨年10月から新体制となり、今年度は8人で、『家族関係学』No. 38 12月刊行に向けて編集作業を進めています。あらためて編集委員会の仕事のご紹介をします。

まず、編集に関わる仕事で一番重要なのは投稿論文の受付・査読審査・掲載です。今期から投稿時に「投稿申込表紙」を部会ホームページからダウンロードして、投稿資格の確認ほか投稿規程・執筆要項に照らして事前に原稿チェックをしていただくようにしました。また、前編集委員会から投稿論文査読過程に一部メールを導入することとし、査読過程はおかげさまでずいぶんスムーズに進めることができるようになりました。しかし、部会誌の質をいっそう高めていくには、より多くの投稿が必要です。次号の投稿締め切りは2020年3月末日の予定ですので、最新の投稿規定・執筆要項をご確認いただき、ふるって投稿していただきますよう、お願いいたします。

次に、編集の仕事としては、特集を組むこと、書評や文献紹介を取り上げること、政策動向や報告などの依頼原稿企画を立てることがあります。38号特集では、昨年鎌倉女子大学で開催されたセミナーの公開シンポジウム「地域社会における多世代共生の可能性—家族と住まいに焦点を当てて—」を取り上げる予定です。また、書評・文献紹介では前年5月1日から今年4月30日までの間に刊行された、部会員が執筆に関わったすべての文献を対象として検討しています。しかし、現状は著書情報をお寄せいただくのがきわめて少なく、担当編集委員はすべての部会員の著作物を手作業でチェックしております。皆さまには編集委員会宛てに積極的に献本いただくなど、多くの情報をお知らせくださいますようお願いいたします。

最後に、刊行後の編集作業として、部会誌の発送業務、さらに「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE)への掲載があります。電子ジャーナルとして、刊行後スピーディーに公開することができるようになります。これからバックナンバーも段階的に掲載作業を進めていく予定です。

編集委員会宛てにご要望等がございましたら、忌憚のないご意見をお寄せください。

★ ☆ ★ 会計より ☆ ★ ☆

李 環媛 (会計/岡山大学)

2019年度部会費として5,000円(学生会員2,000円)を請求させていただきます。6月初めに送付いたしました払込取扱票にて納入くださいますようお願いいたします。前年度までの未納分のある方には、納入いただく金額を払込取扱票の通信欄に記載しております。すでに2019年度分を払込いただいた部会員の方は、二重にお支払いにならないよう、ご注意ください。

学生会員として2019年度会費の入金を希望される方は、学生証の写しを家族関係学部会事務局まで、郵送、画像のメール添付のいずれかの方法でお送りください。詳しくは、家族関係学部会ホームページのトップページをご覧ください。所定の手続きを行わずに学生会員の年会費を入金されても、学生会員として認められません。ご不明の点がございましたら、下記までご連絡ください。

年会費振り込み先：(郵便振替) 00310-6-30229 家族関係学部会
連絡先：岡山大学 李 環媛 〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1 岡山大学教育学部
Tel：086-251-7678 E-mail：leekw★okayama-u.ac.jp
★を@に置き換えてください

★ ☆ ★ 庶務 (会員管理担当) より ☆ ★ ☆

大石 美佳 (庶務/鎌倉女子大学)

○ご住所・ご所属・会員区分の変更、入・退会のご希望、メーリングリスト (ML) へのメールアドレスの登録・変更がございましたら、家族関係学部会事務局までご連絡ください。

○バックナンバーの購入について

「家族関係学」の在庫は、30号 (18冊)、31号 (8冊)、32号 (9冊)、33号 (7冊)、34号 (18冊)、35号 (24冊)、36号 (5冊)、37号 (31冊) です。1冊2,000円で購入できます。購入希望の方は、下記の連絡先までお知らせください。ご所属の図書館等の蔵書としてもお買い求めいただきますようお願いいたします。

なお、『家族関係学』の在庫の保管・販売は2017年7月から、よしみ工産株式会社東京事務所に業務委託しています。購入希望者の方には、よしみ工産株式会社より郵送されます。

連絡先：鎌倉女子大学 大石美佳
〒247-8512 鎌倉市大船6-1-3 Tel：0467-44-2111 (代表) Fax：0467-44-7131
E-mail：inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局)
★を@に置き換えてください

★ ☆ ★ 会員のメルマガを利用した情報発信について ☆ ★ ☆

永田 晴子 (庶務/大妻女子大学)

次回発行のメールマガジンより、会員による情報発信の受付をはじめます。会員による情報が掲載できるのは、年4回 (5月・7月・9月・10～12月) 配信されるメールマガジンが対象となります。家族関係学部会にかかわる活動で、会員間の相互交流や研究活動の発展に資する情報の配信を希望する方は、下記の要領で、事務局メールアドレスまで情報をお寄せ下さい。なお、発信内容が不適切であると役員会が判断した場合、情報が掲載されないこともあります。

<メルマガ配信依頼について>

【依頼先】 inquiry★kazokukankeigaku.jp (★を@に置き換えてください)

【メールの件名】 メルマガ配信依頼

【配信内容】 メール本文に①～④の内容を記載してください。

①情報のタイトル (「〇〇のご案内」など)

②配信内容 (概ね 600 文字以内)

③主催者

④問合せ先

*配信できるのはテキストデータのみです。ファイルを添付することはできませんので、ウェブサイトへのリンク等でご対応ください。

【次号メルマガへの配信受付期限】 2019年7月5日(金)まで (7月中旬配信予定)

⊛+++++++++

家族関係学部会

★を@に置き換えてください

メールマガジン配信アドレス : info★kazokukankeigaku.jp

家族関係学部会事務局アドレス : inquiry★kazokukankeigaku.jp

家族関係学部会ホームページ URL : <http://www.kazokukankeigaku.jp/>

⊛+++++++++

2018（平成30）年度事業報告

1. 研究発表会、公開講演会等の開催

(1) 研究発表会

2018年10月14日(日) 於：鎌倉女子大学（鎌倉市） 17 報告

(2) 公開講演会・シンポジウム等

「家族関係学セミナー公開シンポジウム」の開催

2018年10月13日(土) 於：鎌倉女子大学（鎌倉市）

テーマ：「地域社会における多世代共生の可能性—家族と住まいに焦点を当てて—」

シンポジスト：松本暢子氏（大妻女子大学）「家族の変容と住まい—少子高齢化による住宅需要の変化とまちづくり—」、六角薫氏（NPO 法人セカンドリーグ神奈川事務局次長）「多世代共生のまちづくりの実践事例—成果と課題—」、小澤千穂子氏（大妻女子大学）「『支え合い社会』のデザイン—コミュニティにおける居場所づくりから始まるつながりの再構築—」

参加者：計83名（一般会員58名、名誉会員5名、学生会員5名、招聘した外部講師2名、一般参加13名）。

2. 部会誌の刊行

『家族関係学』No.37 2018年12月14日発刊 260部

3. 研究及び調査の実施

本年度実施せず。

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

本年度実施せず。

5. 内外の関連学協会との連携及び協力

本年度実施せず。

6. 出版

『現代家族を読み解く12章』（編集：（一社）日本家政学会、発行：丸善出版株式会社）

2018年10月30日発行 2000部

7. 『家族関係学』のJ-STAGE 登載

『家族関係学』No.36をJ-STAGEに登載

8. その他、目的を達成するために必要な事業

ニューズレターの発行2回 2018年6月27日、2019年2月15日

ホームページの更新14回 2018年4月9日、4月10日、4月18日、5月16日、6月7日、

7月9日、8月31日、9月7日、9月14日、10月25日、11月1日、

11月28日、2019年1月29日、3月19日

メールマガジンの発行4回（第7～10号）

2018年4月5日、7月2日、8月27日、11月28日

9. 会員の状況（2019年3月31日現在）

会員総数195名（正会員164名、名誉会員7名、学生会員24名）

平成 30 年度収支計算書

(単位:円)

科 目	注 意	29年度予算	29年度決算	備 考
一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用益	(本部のみ)			
特定資産運用益	定期預金の利息			
入会金				
年会費		700,000	786,000	新入会員の増加と未納者の減少
会誌購読料		30,000	32,460	定期購読15団体
大会等参加費		360,000	1,036,500	参加費に宿泊費を含む
広告料				
刊行物売上		5,000	6,500	バックナンバーの売上
著者負担金		20,000	10,000	投稿料2000円×5名
補助金				
一般寄付金	活動全般に使うよい寄付金			
特別寄付金	用途を限定した寄付金			
雑収入	普通預金利息	100	2	
②本部からの支部費	(支部のみ、選挙の為の通信費も含む)			
本部からの支部活動活性化サポート費	(支部のみ)			
本部からの活動助成費	活動助成金全額(税金も含む)	100,000	90,000	
経常収益計		1,215,100	1,961,462	
(2)経常費用				
① 事業費		1,137,000	1,778,130	
大会会場使用料		120,000	957,054	宿泊合宿形式のセミナー
大会講師謝金	講師への支払い(総額(旅費交通費含む))			
大会旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い		15,700	実行委員事前打ち合わせ(新幹線代)
大会消耗品		150,000	49,142	懇親会費は会場使用料を含む
大会印刷費				
大会研究発表要旨集作成費		85,000	85,839	よしみ工産への委託(印刷・発送を含む)
大会通信運搬費		40,000	12,351	講師、座長、よしみ工産への発送費
大会臨時雇賃金		80,000	32,860	学生アルバイト6名
総会費				
セミナー・講演会等会場使用料				
セミナー・講演会等講師謝金	講師への支払い(総額(旅費交通費含む))	70,000	86,860	外部講師3万円×2名、会員講師1万円×1名
セミナー・講演会等旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い			
セミナー・講演会等消耗品				
セミナー・講演会等印刷費				
セミナー・講演会等研究発表要旨集作成費				
セミナー・講演会等通信運搬費				
セミナー・講演会等臨時雇賃金				
学会誌等関連印刷費		330,000	311,925	よしみ工産への委託(部会誌260冊)
学会誌等関連通信費		20,000	60,507	よしみ工産への委託(バックナンバー在庫管理含む)
学会誌等関連原稿料・校閲料等		10,000	9,000	東方学会
学会誌等関連電子ジャーナル化費用				
研究補助費				
表彰費	奨励賞等			
関連学会等会費				
会議費		40,000	24,906	監査打ち合わせ、役員会×2回の弁当・お茶代
広報費		30,000	57,800	よしみ工産への委託(HP・メルマガの管理運営)
旅費交通費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する旅費交通費	60,000	70,082	韓国派遣、J-STAGE説明会
事務委託費		100,000		すべて関連費目に計上
支払負担金		2,000	4,104	よしみ工産への振込回数増加による
雑費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する雑費			
② 管理費		146,000	59,630	
給料手当		10,000	7,640	発送作業×3回の学生アルバイト代
福利厚生費				
旅費交通費	(本部のみ)			
通信運搬費	大会、セミナー・講演会関連以外の通信運搬費	100,000	45,270	ニューズレターのメール配信による減額
備品費				
消耗品費		35,000	6,618	ニューズレターのメール配信による減額
光熱水料費				
雑費	(本部のみ)			
租税公課	(法人税、消費税等本部のみ計上)			
地代	(本部のみ)			
印刷費	大会、セミナー・講演会関連以外の印刷費	1,000	102	オンライン上の作業による減額
修繕費				
減価償却費	(本部のみ)			
リース料				
事務所管理費				
退職給与引当金繰入額	(本部のみ)			
③支部費				
支部活動活性化サポート費	(本部の支出を計上する欄)			
活動助成費				
経常費用計		1,283,000	1,837,760	
当期経常増減額		▲ 67,900	123,702	
2.経常外増減の部				
(1)経常外収益	(例えば不動産を売る等、通常の活動外での収入、支出)			
(2)経常外費用				
当期経常外増減額		0		
当期一般正味財産増減額		▲ 67,900	123,702	
一般正味財産期首残高	定期預金、普通預金、現金等の全ての金額	2,898,260	2,898,260	
一般正味財産期末残高		2,830,360	3,021,962	